金沢スタジアム オープン

市民・子どもたちの励みに

Ｊリーグ ツエーゲン金沢のホームスタジアム　©ZWEIGEN KANAZAWA

クラウドファンディングによって整備された（左から）バラエティーシート、フィールドシート、テラスシート　©ZWEIGEN KANAZAWA

コンコース　撮影：㈱エスエス北陸支店

ウェルカムゲート（ペデストリアンデッキ南側から望む）
撮影：㈱エスエス北陸支店

金沢市が建設を進めてきたサッカー専用競技場「金沢スタジアム」が、18日に行われたツエーゲン金沢対カターレ富山のスペシャルマッチをもってオープンした。同スタジアムは北陸地方では初めてのＪリーグ規格の施設で、市民や子どもたちにとって大きな〝励み〟になるだろう。設計は梓設計、施工は熊谷・植木・鈴木・北陸工建ＪＶらが担当した。

ごあいさつ

金沢市長
村山　卓

新たなスポーツ交流拠点の誕生

この度、長年にわたり親しまれてきた金沢市民サッカー場が、「金沢スタジアム」として、２月18日、新たに生まれ変わりました。

今回の再整備により10，000人規模の、北陸初Ｊリーグ規格を満たすフットボール専用スタジアムとなります。

臨場感あふれる観戦環境の中、トップレベルの試合を目の前で体感することで、子どもたちの夢と憧れの舞台となるような魅力的なスポーツ施設となることを大いに期待しております。

また、今回の整備においては、ふるさと納税制度によるクラウドファンディングやネーミングライツ制度を導入するなど、多くの方々からのご支援をいただきました。

今後も、市民に愛される「みんなのホームスタジアム」として、さらなる機運醸成を続けてまいります。

どうぞ、金沢市のホームタウンチームであるツエーゲン金沢のホームスタジアムにぜひお越しください。

最後に、オープンにあたり、ご協力いただきました関係の皆様方に心より感謝申し上げますとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

設計コンセプト

金沢おもてなしスタジアム

梓設計
専務執行役員プリンシパルアーキテクト
スポーツ・エンターテイメントドメイン
ドメイン長　**永廣　正邦**

約１万人収容の北陸初のＪリーグ規格フットボール専用スタジアム

サッカーファンだけでなく、日常的に誰もが気軽に訪れる事ができ、さらにスポーツツーリズムの新たな拠点として、観光名所金沢に相応しいおもてなしのスタジアムを目指した。

おもてなしスタジアムを象徴するウェルカムゲート

スタジアムは、金沢のおもてなし文化を象徴するウェルカムゲートで人々をやさしく迎え入れる。間口約80ｍ、無柱スパン42．5ｍの屋根で構成され、ゲート越しには、特徴的に開かれたスタンド構成により金沢の風景との呼応を図っている。さらにウェルカムゲートは、プロジェクション等によりイベント時の演出性を高めるスクリーン機能と共に、ホームサポーターの熱狂をピッチに届ける反響板として、スタジアムの一体感、臨場感を高める機能を持たせている。

多様な観戦体験価値を生むホスピタリティスタジアム

スタンドからフィールドまで最短で７ｍと、フットボール専用スタジアムならではの臨場感を味わうことができる。メイン・バックスタンドは、上層スタンドのコンコースを省略し、２層スタンドに一つのコンコースからアクセスする計画としている。5．5ｍのコンコース幅員を確保し、混雑緩和とコスト縮減を両立している。また、多様な観戦スタイルを体験できるバラエティに富んだ構成としている。ミックスゾーンの選手入場を見送ることができる日本初のトンネルラウンジ、車椅子利用者もピッチ付近で観戦できるフィールドシート、ファミリー利用しやすいキッズスペース付のテラスシート、グループ利用できるソファシートなど、多様な体験価値を生むホスピタリティ溢れる計画としている。

人・公園・まちをつなぐ、365日開かれたスタジアム

誰もが安心して利用でき、地域の居場所となる開かれたスタジアムを目指した。外周をめぐるペデストリアンデッキにより、コンコースや、公園、周辺施設との連携性を高め、日常的にもにぎわいを生む計画とすると共に、道路を跨いだ公園敷地を繋ぐ安全な園路としても機能している。バックスタンド１階のにぎわいスペースは、雨に濡れないピロティ空間として、試合時は売店・飲食エリアとなるほか、日常時は隣接する屋内交流広場（あめるんパーク）との連携や、イベント利用など、柔軟な運用が可能な計画としている。また、災害時の活動支援施設として約500㎡の防災備蓄倉庫を整備し、防災機能向上にも寄与している。

環境の変化を受け入れるエコスタジアム

スタンドはコーナー部を開放し、南サイドスタンドの屋根を極力低く抑えることで、日射量の少ない金沢においても、天然芝ピッチへの日照と通風を確保している。効果的な段階整備を視野に、初期整備ではＪ２基準の１万席を確保、将来Ｊ１基準の１万5000席への拡張を考慮し、北側に余白を残した更新性あるＵ字型のスタンド構成としている。初期整備費用を抑えた、持続可能なスタジアムのプロトタイプとも言える。

設計・監理
AZUSA SEKKEI
建築に、温度を。株式会社 梓設計
中部支社　名古屋市中区錦3－15－15　電話 052(253)8822

監理協力
山岸建築設計事務所 Yamagishi Architects + Engineers
金沢市中村町31－47　電話 076(241)7234

建築　熊谷・植木・鈴木・北陸工建 特定建設工事共同企業体
高める、つくる、そして、支える。 熊谷組
東京都新宿区津久戸町2－1　電話 03(3260)2111
北陸支店　金沢市広岡2－13－5　電話 076(208)3230
人・街・未来、響きあう感動 株式会社植木組
新潟県柏崎市駅前1－5－45　電話 0257(23)2200
金沢営業所　金沢市神宮寺2－1－10　電話 076(251)9111
誠実と信頼でより豊かな明日を創る。 鈴木建設株式会社
金沢市清川町5－3　電話 076(241)7361
株式会社北陸工建
金沢市米泉町7－23－2　電話 076(242)8221

電気設備　米沢・ツボ・柴 特定建設工事共同企業体
都市（まち）が元気だから　会社も元気 米沢電気工事株式会社
金沢市進和町32　電話 076(291)5200
明るい豊かな街づくりのために ツボ電気工事株式会社
金沢市東力3－70　電話 076(291)2840
電気工事全般 柴（しば）電気工事株式会社
金沢市長土塀1－15－23　電話 076(248)0600

■ 鋼製建具工事
岸建販株式会社
金沢市西念2－29－17　電話 076(262)4151
■ 外構・フィールド工事
北川ヒューテック株式会社
金沢市神田1－13－1　電話 076(243)2211
■ 左官工事
株式会社 イスルギ
金沢市神田1－31－1　電話 076(247)4646
■ 組積・断熱・耐火被覆工事
井上商事株式会社
金沢市松島2－190－2　電話 076(240)0292
■ ガラス工事
AGC北陸硝子建材株式会社 金沢支店
石川県野々市市横宮町3－5　電話 076(204)6030
■ 鉄骨工事
オカモト鐵工株式会社
福井市上森田1－102－2　電話 0776(56)1155
■ 工事用エレベーター設置
オスログレーン株式会社
福井市上野本町4－2701　電話 0776(56)2883
■ 土工事
株式会社 ガイアート 北陸支店
金沢市広岡1－1－35　電話 076(232)8926
■ 金属工事
河上金物株式会社
富山市館出町2－4－5　電話 076(424)1332
■ 金属屋根製造
元旦ビューティ工業株式会社
神奈川県藤沢市湘南台1－1－21　電話 0120(09)4939
■ 防水工事
北川瀝青工業株式会社
金沢市千日町8－30　電話 076(242)7245
■ 敷鉄板リース
株式会社 桐畑
金沢市湊1－8－5　電話 076(237)7108

チーム更衣室　ⓒZWEIGEN KANAZAWA

祝　辞

金沢市サッカー協会
会長 加藤　幸三

金沢市のサッカー活動の新たな「聖地」として、そして、新たな挑戦に臨むツエーゲン金沢のホームスタジアムとして、ここに金沢スタジアムのご竣工を迎えられましたことを、謹んでお慶び申し上げます。

また、金沢市長をはじめとする関係当局の皆様、工事関係者の皆様、その他スタジアムの完成にご尽力をいただいた全ての皆様に深く敬意を表するとともに、厚くお礼を申し上げます。

現在の金沢市民サッカー場は、金沢市の市制百年記念事業として、1991（平成３）年に整備され、第46回国民体育大会のサッカー競技の会場として使用された他、石川県のサッカーの「聖地」として、長きにわたって親しまれてきました。

地域の誇り・ふるさとの宝

今般、北陸初のＪリーグ規格を満たすフットボール専用スタジアム「金沢スタジアム」として生まれ変わり、地域のサッカー競技者にとっての新たな夢の舞台となります。オールシーズンでプレーが可能な天然芝ピッチを有し、スタンド最前列からピッチまでの距離７～９ｍという臨場感あふれる観戦環境、雨天時にも快適に観戦できるよう全ての観客席に屋根が整備されるなど、サッカー競技者にとっても、観戦者にとっても、試合運営者にとっても、最高のサッカー環境となりました。

地域のサッカー大会で利用することはもちろんのこと、国際大会や大規模イベント等の開催も可能となります。今後、この金沢スタジアムで、性別、年齢、障害の有無等にかかわらず、広く市民・県民がサッカーに親しみ、幾多のゴールや感動のドラマが生まれることでしょう。

スポーツによる地域活性化や健康増進への期待が高まるなかにあって、金沢スタジアムが真にこの地域の誇り・ふるさとの宝となることを心から祈念して、お祝いの言葉といたします。

ミックスゾーン（奥にトンネルラウンジ）
撮影：㈱エスエス北陸支店

VIPラウンジ
ⓒZWEIGEN KANAZAWA
撮影：㈱エスエス北陸支店

防災備蓄倉庫　提供：金沢市

地方都市の持続可能な競技場として

北陸初となるＪリーグ規格

撮影：㈱エスエス北陸支店

最高の形でゴールを演出し導く

施工のポイント

熊谷・植木・鈴木・北陸工建ＪＶ
作業所長
竹本　寛之氏

施工にあたり、金沢市だけでなく石川県、北陸地方の聖地となり得るこのプロジェクトを、仲間と連携してパスをつなぎ、最高の形でゴールに導くことを目指した。感染症の蔓延や人材不足、資機材価格の高騰など、社会情勢の変化は激しい。その中で、単純に工事の完成をゴールとするのではなく、未来につながる仕事のあり方を模索した。

２０２１年10月の着工を前に、協力会社約80社を一堂に集め、チームビジョンを説明する機会を設けた。「工期の厳守や品質の確保は当然のこと。それに加え、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）等、社会的価値観が変化していく中で、このプロジェクトがどのように注目され、自分たちの姿がどのように見られているか考えて行動してほしかった。協力会社の皆さんのモチベーションは高く、これまでも一緒に仕事をしてきたため、ゴールを示せば共感してくれるという信頼があった」と竹本寛之作業所長は話す。

工事は南側のサイドスタンドから西側のメインスタンド、東側のバックスタンドへと「コ」の字型で進めた。施工のポイントとして、躯体工事は人手不足やウッドショックというまさに社会的課題に直面した。

「人手不足は、人員を増やすことも考えたが、少人数でも効率よく作業が行えるように合理化を図った」と竹本作業所長。合理化を図る上で、現場でのプレキャスト（ＰＣａ）化を採用。資材の調達時期と作業手順、人員を照らし合わせ、誰が、いつ、どの作業を行えばスムーズに工程が進むかを考え抜き、躯体工事を完了した。

全客席を覆う大屋根の施工もポイントの一つ。塗装や溶接はもちろん、異業種ＪＶとの連携により照明機器などの取り付けも地上で実施。ほぼ完成したものを鉄骨建て方と同時に設置し、高所作業を削減することで安全性や作業効率の向上につなげた。

「顧客の立場に立てば、建築だけ完成しても喜ぶことはできない。施設全体が完成して初めて意味がある。このため、設備工事を担当するＪＶとは定期的に打ち合わせを行い、進捗（しんちょく）状況の把握など連携を深めていた。高所作業の削減は、設備工事を担当するＪＶにとってもメリットがあったと思う」（竹本作業所長）。

Ｊリーグ規格を満たしたサッカースタジアムの施工は全国でも希少なプロジェクト。施工の様子をより多くの人に見てもらおうと、講習や見学の機会を多く設けた。建設業界の関係者だけでなく、学生やサッカー関係者など幅広い層から延べ１０００人以上が現場に訪れた。

完成を迎え、竹本作業所長は「まずは能登半島地震で被災された方にお見舞いを申し上げる。地震の翌日、発注者とともにくまなくスタジアムを点検し、問題がないことを確認するとともに、改めてすごい施設を完成させたのだと実感した。協力した関係者の皆さんに感謝するとともに、このスタジアムが多くの人に愛され聖地となることを願う。そしてわれわれは、その姿を見守り、今後の挑戦に生かしていく」と話してくれた。

工事概要

◆プロジェクト名：金沢市民サッカー場再整備
◆場　　所：金沢市磯部町ニ25－１ほか（城北市民運動公園内）
◆建　築　主：金沢市
◆設　計　者：株式会社梓設計
◆工事監理者：株式会社梓設計
◆監　理　協　力：株式会社山岸建築設計事務所
◆施　　工：熊谷・植木・鈴木・北陸工建特定建設工事共同企業体（建築）
米沢・ツボ・柴特定建設工事共同企業体（電気設備）など
◆敷　地　面　積：７万0,643㎡
◆建　築　面　積：9,584.50㎡
◆構造・規模：ＲＣ・Ｓ（一部ＳＲＣ）造、４階、延べ床面積１万8,858.96㎡、収容人員１万0,444人（うち椅子席約8,096席）
◆工　　期：2021年10月１日～2023年９月29日

祝　私たちが建設生産に携わりました

■ 仮設工事
株式会社 キリハラ
金沢市二日市町ヘ181　電話 076(257)3880

■ 鉄骨工事
株式会社 金太
金沢市泉本町5－61　電話 076(242)3230

■ 産業廃棄物処理
クリーンライフ株式会社
金沢市舘町ヌ6　電話 076(229)2961

■ 鉄筋工事
株式会社 コデラ
石川県白山市森島町う138－1　電話 076(272)0852

■ 金属工事
小森商事株式会社
金沢市入江3－132－101　電話 076(214)6789

■ 屋根工事
サイトーバンキン株式会社
福井県鯖江市柳町4－2－25　電話 0778(52)6051

■ 塗装工事
カシワバラグループ
三優社工業株式会社
福井市和田3－308　電話 0776(22)4779

■ 仮設資材
株式会社 嶋源木建
金沢市佐奇森町イ132－1　電話 076(267)1124

■ 杭工事
ジャパンパイル株式会社 中部支店北陸営業所
金沢市鞍月5－181　電話 076(238)4191

■ 警備
株式会社 セーフティ
金沢市長田町3－3　電話 076(223)7110

■ 防水工事
株式会社 創和シーリング
富山市呉羽町6444－2　電話 076(471)7105

■ 内装工事
株式会社 タック
金沢市打木町東1418　電話 076(269)1133

■ 型枠工事
谷建設株式会社
石川県七尾市温井町ヌ部85－1　電話 0767(57)2275

■ 内装工事
株式会社 つくーる
金沢市問屋町1－21　電話 076(237)4122

■ 仮設資材
テクノス株式会社
愛知県豊川市穂ノ原2－1　電話 0533(84)1111

■ 仮設ハウス
東海リース株式会社
金沢市打木町東1327　電話 076(269)1927

■ 仮設工事
有限会社 遠田工業
石川県かほく市木津ホ36　電話 076(285)2182

■ 鉄骨工事
株式会社 巴コーポレーション 名古屋支店
名古屋市名東区一社3－96　電話 052(704)5181

■ 鍛冶工事
中鉄工有限会社
石川県河北郡津幡町字坂戸ヌ55－1　電話 076(288)1104

■ 避難器具工事
株式会社 本田商会
金沢市増泉2－19－10　電話 076(242)7141

■ 樋工事
株式会社 マイ工業
富山市大塚東223　電話 076(436)2039

■ 土工事
株式会社 松原光工業
金沢市千田町ハ34－1　電話 076(258)1411

■ 測量機械器具レンタル
株式会社 三笠商会
福井市北四ツ居1－1－1　電話 0776(53)0330

■ 山留工事
三谷エンジニアリング株式会社
金沢市駅西本町1－14－29　電話 076(264)4800

■ 生コンクリート販売
三谷商事株式会社 金沢支店
金沢市駅西本町1－14－29　電話 076(263)7477

■ 鉄骨工事
有限会社 宮本工業
福井市大町1－314－2　電話 0776(35)5221

■ 金属資材
山清産業株式会社 東京支店
東京都台東区台東1－27－11　電話 03(3831)1079

■ 鉄筋工事
吉岡幸株式会社
福井市宝永3－22－5　電話 0776(22)2211

■ 建設機械器具レンタル
株式会社 ヨシカワ
金沢市広岡3－3－77　電話 076(265)4111

■ サイン工事
ヨシダ宣伝株式会社
金沢市中央通町1－22　電話 076(221)3231

■ 鋼製建具工事
YKK AP株式会社 ビル本部 北陸支社 金沢支店
金沢市無量寺町ハ25－1　電話 076(266)4100

■ 生コンクリート・ポンプ圧送
若松商事株式会社
石川県小松市若杉町リ100　電話 0761(22)4185

■ 石・タイル工事
株式会社 和田大理石北陸
福井市西開発3－504　電話 0776(53)8689

オープン
おめでとうございます